



# 輝く未来

学校だより  
令和7年3月4日  
2月号  
中種子町立野間小学校



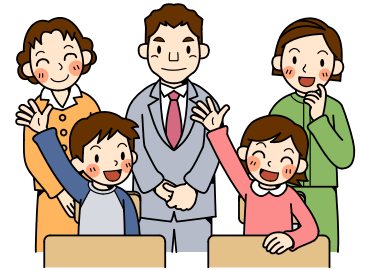
↑ホームページ更新中  
ぜひ御覧ください

## 授業改善の取組

校長 吉國 耕二

早いもので、3学期も残りわずかとなりました。子供たちが学校に来て学習する日も20日を切り、6年生は卒業式の練習も始まりました。練習で流れてくる音楽や言葉を聞くと何となく寂しい気分になる今日この頃です。

さて、本校は本年度、鹿児島県教育委員会より「学習者主体の授業」実現プロジェクト実践校に指定され、全職員で研究に取り組んできました。「学習者主体の授業」を実現するために、子供が自ら「問いを発見する」、「解決の方法を見通す」、「課題解決まで試行錯誤を繰り返す、協働する」、「自らの学びを振り返り、次に生かす」の4つの視点を立て、共通実践を行ってきました。また、ペアによる相互授業参観を計画し、子供たちの学ぶ姿から語り合い、次の授業に生かす取組を年間50回以上実施しています。子供たちに育みたい資質・能力を踏まえた上で、どのような授業を進めていけばいいか等、授業改善に取り組んでいます。子供たちが生き生きと自ら学習に取り組み、生きていく上で必要な力を育ていけるように、今後も全職員で取り組んでいきたいと思いますので、ご理解・ご協力をお願いします。



## 家庭教育の大切さ

昨年度も「家庭教育の大切さ」について学校だよりで述べました。福沢諭吉が書いた「よき習慣の形成」では「子供は家であって、毎日一日中、親の姿を見て育つ。家庭というものは親の心によってつくられるもので、子供の習慣はすべて親の一心にかかっている」と言っている。故に、家庭は習慣の学校であり、親は習慣の教師である。しかも、この習慣の学校は教育を行う学校よりもはるかに力があり、きわめて大きな効果を与える。」と述べ、家庭教育の重要性を記しています。また、県の家庭教育支援条例の全文では「家庭は、教育の原点であり、全ての教育の出発点である。子供にとって、親が人生最初の教師である。基本的な生活習慣、豊かな情操、思いやり、善悪の判断等の基本的な倫理観、自立心、自制心等は、愛情による絆で結ばれた家族とのふれあいを通じて家庭で生まれる。」と記されています。子育ては思うようにいかない場面が多く、悩むことも多々あると思います。昔から多くの方々が子育てに悩みながら、それでも子供と向き合い、多くのことを経験しながら親として成長してきました。「人はそれぞれ個性があり、また育つ環境も違うので、その家庭にあった子育ての方法でよい。『あわてず』『あせらず』『あきらめない』ことが大切です」とある講演の中で話を聞きましたが、まさにその通りだと思います。学校でも子供たちに集団の中で必要な習慣や自立心、豊かな心を育てていきます。今後も学校と家庭が連携・協働しながら子供たちの教育を進めていきたいと思いません。御協力をよろしくお願いいたします。

## 6年生との思い出を胸に～6年生を送る会・お別れ遠足～

2月28日、6年生を送る会とお別れ遠足が行われました。学校の体育館で行った6年生を送る会では、各学年ごとに6年生に向けた歌や言葉を送りました。1年生のかわいい歌声、2年生の元気なダンスに始まり、3年生のメッセージのこもった歌。4年生からは手作りのプレゼントが6年生へ渡されました。5年生の歌とメッセージの出し物では、6年生への感謝の気持ちと6年生が築いてきた野間小学校の伝統を引き継いでいくという思いが込められていました。最後に6年生が、卒業式で歌う「いのちのうた」を合唱しました。この1年間、最高学年としていろいろな面でがんばってきた姿と重なり、全校児童、職員が感動した時間となりました。以下の文章は、5年児童の感想です。



6年生の朝、あいさつ運動をする姿や静かに廊下を歩く姿などすごいと思う場面がたくさんありました。また、委員会活動の時、助けてもらったり声をかけてもらったりして嬉しかったです。来年は私たちが6年生の頑張りを引き継いでいきます。

これまで、6年生にいろいろな場面でたくさんの声掛けや手助けをしてもらった子供たち。その感謝の思いがたくさんこもった送る会となりました。また、送る会后、全校児童で陸上競技場に遠足にいきました。温かい青空の下、6年生と一緒に遊んだり、同級生と楽しくお弁当を食べたりと楽しい時間となりました。

## アスリートから学びました～アスリート体育授業～

2月25日、野間小学校体育館にて「アスリート体育授業」が行われました。今回、野間小学校を訪問したアスリートはバレーボール女子日本代表でワールドグランドチャンピオンズカップにおいてベストリベロ賞を受賞したこともある「佐藤あり紗さん」でした。5年1・2組、3年2組の子供たちが佐藤さんに習いながら回転レシーブをしたり、佐藤さんの打ったボールをレシーブしたりしてバレーボールを楽しみました。最後に行われた試合後、佐藤さんから「自分も仲間に支えられここまでがんばってきた。みんなも仲間を信じ、支え合いながら何事にもチャレンジしてほしい。」という言葉がもらいました。バレーボールを通して感じたことをこれからの生き方にもつなげていってほしいと思います。



### 受賞おめでとう～令和6年度なかたねの子表彰～

中種子町の児童で、様々な分野で特にがんばっている児童を表彰する「なかたねの子」の表彰が行われました。表彰された児童は以下の通りです。

【体育賞】6年 進藤妃弥呼さん 中野尊さん 【学芸賞】 6年 長田志穂さん 大町田陽心さん  
【読書賞】6年 折戸海斗さん 俵積田太陽さん 【リーダー賞】6年 鎌田莉々愛さん 福元日菜さん

### 【3月の主な行事予定】

7日（金）劇団四季こころの劇場	24日（月）第78回卒業式
11日（火）卒業式予行練習	25日（火）修了式・離任式
14日（金）ゆめいろ・にじいろ学級ゴール会	26日（水）PTA主催送別会